



# エコトピア

第22号



▲観察会の様子

## カタツムリ観察会を開催しました

カタツムリ観察会は、6月29日(土)芹川ダム野鳥の森(多賀町)、7月13日(土)堅井之大宮(愛荘町)の2箇所で開催し、小学生と保護者の方を中心に延べ86名の方にご参加いただき、頑張って探していただいた結果、多賀会場では7種類、愛荘会場では5種類のカタツムリの仲間を見つけることができました。

この観察会は、身近な場所にいるカタツムリを子どもから大人まで地域の住民がみんなで調査し、カタツムリとそれを取り巻く生息環境の観察を通して、地域の環境に関心を持ってもらうことを目的に、昨年度に引き続き開催したものです。本年度は開催にあたり、それぞれ地元で活動されている多賀クラブ、愛荘町さわやかまちづくり推進会議に御協力をいただきました。

### 観察会で見つけたカタツムリの仲間

クチベニマイマイ、ニッポンマイマイ、ナミマイマイ、コベソマイマイ、イブキクロイワマイマイ、オオケマイマイ、ナミギセル、ナメクジ、ヤマナメクジ

カタツムリ観察の感想を紹介します。

### 馬場重克さん(多賀小学校 3年)

カタツムリのちょうさをして、いろんなカタツムリがいるんだなと思いました。ぼくは、カタツムリがすきなので二匹かっています。えさは、さいしょはキャベツをあげていました。つぎに、きゅうりをあげてみました。そしたらいそいで食べにきたので、それからはきゅうりをあげるようになりました。それもちょうさになりました。

### 小林歩実さん(秦荘東小学校 2年)

わたしは、カタツムリのいるばしょや、カタツムリのとくちょうなどにも知りませんでした。けれどカタツムリかんさつ会に行っているのを知りました。カタツムリは、木の上や葉っぱのうらにいました。カタツムリのとくちょうは、葉っぱから葉っぱへうつることでした。カタツムリのことをもっといろいろ知りたいです。

### 小林礼奈さん(秦荘東小学校 4年)

私は、カタツムリやこん虫は大ののがてでした。でも観察会に行ってから、私はカタツムリが好きになりました。そしてカタツムリのとくちょうや、いる場所が楽しく分かりました。クチベニマイマイは、小さい木の後ろや小さいえだにくっついていました。カタツムリのこといろいろ分かって、楽しかったです。

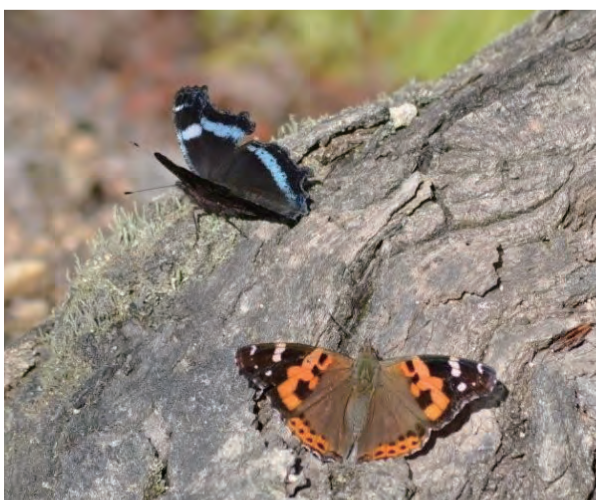
観察会の様子▲▲

## 湖東地域のカタツムリ調査を実施しました

平成25年度の湖東の生き物調査は、昨年度に引き続き、カタツムリを対象に実施しました。この調査は、環境フォーラム湖東が毎年度住民参加型調査として取り組んでいるもので、これまでセミの抜け殻、ひっつきむし、つばめ、ホタル、外来植物を対象として調査をしてきました。調査結果は、エコトピアへの掲載や湖東地域環境シンポジウムで広く情報提供することで、地域の皆さんが身の回りの環境を見つめ直すきっかけとさせていただけるよう努めています。本年度のカタツムリ調査では、6月から8月の調査期間内に彦根市、愛荘町および多賀町などで見つかったクチベニマイマイをはじめとしたカタツムリが報告されました。今年は、梅雨の期間中、晴れて乾燥した日が続いたため、カタツムリの観察にとっては厳しい条件となりましたが、小学生から大人の方まで熱心に観察し、コメントを添えて報告いただきました。皆さんから報告いただいた結果は、12月に開催予定のシンポジウムで発表する予定です。



## 湖東の生き物の仲間



### ルリタテハ(タテハチョウ科) アカタテハ(タテハチョウ科)

共に年中見られる綺麗なチョウであるが特に秋遅く古木や岩の上に止まり、羽を広げたり閉じたりして雌の通りかかるのを待っている様子。晩秋、日なたぼっこに出ていて人や動物に驚かされても又同じ所に戻って止まる。成虫で冬を越すのだがどこで越冬しているかまだ見つけたことは無い。



### ツガサルノコシカケ (サルノコシカケ科)

松類の針葉樹枯木に発生、まれにハンノキ、サクラ類の枯木にも見られる。傘は半円形、傘表面は初め類白色のち淡褐色から赤褐色黒褐色と変化、ニス状の光沢をもち傘肉はクリーム色でコルク質。現在日本には約五千種のキノコがあると云われていますが名前がつけられているキノコは約千五百種類に過ぎません。

8月31日(土)、コラボしが21(大津市)で開催された第3回びわコミ会議で、環境フォーラム湖東の活動を紹介したパネル展示を行いました。

マザーレイクフォーラムは、平成23年10月に改訂された「マザーレイク21計画」第2期計画において、県民・NPO・事業者など、琵琶湖流域に関わる多様な主体が、計画の進行管理および評価・提言を行う場として位置づけられており、みんなで琵琶湖の現状や将来について話し合うため、毎年、びわコミ会議を開催しています。会議は午前の第1部、山、川、里、湖の各分野からの取り組み報告に続き、午後の第2部では、「人のつながり」をキーワードに参加者が10テーブルに分かれて様々なテーマで、びわ湖のこれからについて話し合いが行われました。

パネル展示は、県内の環境NPO団体をはじめ、企業、関係機関のほか、愛知県からも三河湾環境プロジェクトに関する展示がされ、昼食休憩の時間には、多くの参加者が展示コーナーを訪れました。当フォーラムは、平成24年度の生き物調査や水質調査を紹介したポスターとエコピアを展示し、来場者への活動PRとともに他の出展団体との情報交換を行うことができました。

パネル展示会場▶  
出展したパネル▼



日時 平成25年9月20日(金) 19:00～21:00

場所 (株)岡村本家 酒蔵2階

話題提供 NPO芹川子育て支援部門 川崎敦子さん

川崎さんをはじめとする皆さんの、子どもたちに地域を好きになってもらいたいという強い思いが感じられました。そのために、子どもたちが親しみをもちやすい昔話や妖怪という題材を選び、本を作ってしまうほどまでに、それを究めておられることが素晴らしいと思います。

今回聞かせていただいたお話は、自分なりに情景が想像でき、妖怪の世界に引き込まれるようでした。大人でも楽しめるほどですから、子どもたちは夢中になって聞いていることでしょう。川崎さんたちの妖怪の話聞いて育った子どもたちが、将来、地域を愛する大人に成長してくれることを願ってやみません。

◀お話の様子  
▼会場



【団体紹介】泉エコーくらぶ

設立 平成13年3月31日

活動目的

- (1) 身近な環境とのふれあいを通じて環境意識の高揚を図る
- (2) 会員相互の交流、絆を深める



会員数 彦根市日夏町泉の住民72世帯

現在の活動内容

- (1) 全体:エコの日設定(第3日曜日)、エコの日における定例作業の実施

- (2) 調査部門:ホテル観察、観察会の開催、エコ調査隊part2による「環境マップ」の作成の準備
- (3) 整備作業部門:ホテル発生区域周辺の法面等除草、水車の設置等
- (4) 景観保全部門:①季節の草花を植え付けしたりサイクルプランターの配置による「花いっぱい活動」の展開、②「こども花壇」植え付けへの協力、③休耕田を活用したコスモス畑の整備
- (5) 交流部門:「エコまつり」の開催(地藏盆開催時に合わせてバザー物品販売、活動パネル展示等)
- (6) 環境創造部門:①水路での鯉の放流、②こいのぼりの掲揚、③ふるさと絵図づくりの準備等
- (7) 広報部門:①「エコくらぶだより」の作成回覧、②水車設置水路横の堀への活動状況貼り付けによる活動紹介等

なお、当団体は、過去に「環境フォーラム湖東」の前身である「湖東地域エコピア推進委員会」からの助成を受けて、啓発看板の設置や「環境マップ」を作成した経緯があります。

環境フォーラム湖東からのお知らせ

「湖東地域環境シンポジウム」を開催します

湖東地域の自然環境に関する講演、地域で活動する環境ボランティア団体の活動紹介等を通して、環境保全活動の取り組みの輪を広げることを目的にシンポジウムを開催します。お気軽にお越し下さい。

- 日時 12月7日(土)10:30～16:00(10:00～受付)
- 場所 ビバシティ彦根 2階研修室
- 内容
  - ・午前の部(10:30～12:00)

よし笛ミニコンサート(演奏:日本よし笛の会)

湖東地域のカタツムリ調査表彰

講演「身近な生きものを調べることの大切さ」

講師 滋賀県立琵琶湖博物館学芸員 金尾滋史氏

・午後の部(13:00～16:00)

体験コーナー

・湖東の環境活動展(同時開催)

12月3日(火)～9日(月)センターモールにて

12月8日(日)13:00～16:00小学生を対象に買い物ゲームを行います

発行:環境フォーラム湖東 (平成25年11月)

- 〒522-0071
- 彦根市元町4-1 滋賀県湖東環境事務所内
- TEL 0749-27-2255 ■ FAX 0749-27-1688
- URL <http://www.f-koto.org/>
- facebook <http://www.facebook.com/f.koto.org>
- E-Mail [info@f-koto.org](mailto:info@f-koto.org)

環境フォーラム湖東では新規会員を募集しています

すでに環境に関する活動をされている方や、ちょっと環境の勉強をしてみたいという方、企業・市民団体のみならず、どなたでも参加していただけます。

まずはお気軽に、左記事務局までご連絡ください。環境フォーラム湖東に関する詳しい情報をご連絡いたします。